

### 高校生約900人に聞いた！現役高校生の「家族観」とは？

## 高校生の過半数が家族に満足し、満足度が高い方が将来の結婚への意欲が高い けんか後の謝り方は、“直接謝る”が8割超！肌で感じるコミュニケーションが大切

株式会社リクルート（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：北村 吉弘）が提供する進路情報メディア『スタディサプリ進路』は、スタディサプリ編集部の高中生エディター&公式 LINE 登録者を対象に“家族観”についてアンケートを実施致しました。また、こちらのアンケートの詳細は『スタディサプリ進路』内の「#高校生なう」でお知らせしています。

URL：<https://shingakunet.com/journal/fromsapuri/20221021000004/?vos=scrmot00029>

### ■高校生の将来観は、家庭の雰囲気、“対話”や“一緒に何かをする”などコミュニケーションが大きく影響 家族への満足度が高い方が、将来結婚したいと思う人の割合も高くなることが判明

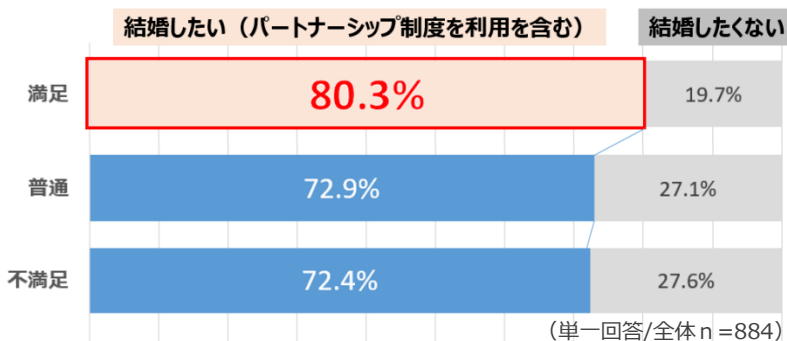
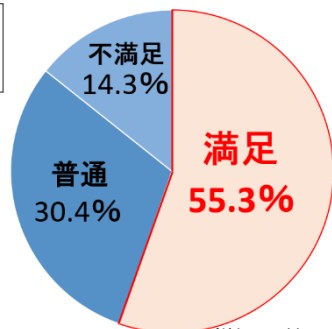
現役高校生約900人に「家族への満足度」を10段階評価で聞くと、家庭によって子どもとのコミュニケーションの取り方や環境はさまざまですが、満足していると捉えられる8以上を回答した人の割合が半数を超えるという結果に。高い満足度を回答した人のコメントを見ると、「みんな仲良しでいつも柔らかい雰囲気だから。また、叱るところはちゃんと叱ってくれるから」（高3女子/静岡県）、「一緒にドラマを見たりご飯の時に楽しくおしゃべりをしたりするから」（高2女子/神奈川県）と、家庭内での会話の多さや一緒に何かをするなど、コミュニケーションの活発さが重視されているようでした。

また、「将来の結婚への意欲」を満足度別にみると、家族への満足度が高いグループの方が「将来、結婚したい」と意欲的。高校生の将来観に、家族の雰囲気やコミュニケーション量が関わっていることが分かりました。

#### Q:家族に満足していますか？

#### <家族への満足度別にみる将来の結婚への意欲>

満足：8～10  
普通：5～7  
不満足：1～4



### ■保護者とけんかした後の謝り方 TOP3

#### 「直接謝る」が8割超と圧倒的！家族のコミュニケーションは肌で感じられることが優先される様子

進路のように大きなことからささいな日常の習慣など、けんかが発生することも少なからずあると思いますが、「保護者とけんかをした時の謝り方」を聞くと、LINE・メールや電話など非対面のツールも選択肢にある中、「直接謝る」が8割超。「やっぱり対面で話し合うのが一番だと思うから」（高3男子/滋賀県）など、誠意を伝えたいというコメントが非常に多く、家族というくくりの中では、“うまくやる”よりも肌で感じられるコミュニケーションで根本的に解決するというところに重きを置いている様子でした。

順位	保護者とけんかをした時の謝り方 TOP3	割合
1	直接謝る	84.3%
2	LINEで謝る	14.4%
3	手紙で謝る	4.6%

(複数回答/n=884)

### ■編集長コメント

#### 共働き家庭が増える中、定番の家庭料理1位は「カレーライス」

#### 家族の状況把握のバロメーターになったり、作り置きで温めるだけでおいしく食べられることがカギ



『スタディサプリ進路』  
編集長  
仲井 美夏 (なかい みか)

今回の調査では、家族への満足度や保護者との関わり方を高校生に聞き、家族という単位の中では、時代の流れにかかわらず普遍的なことが多いということが気付きでした。その中の一つが「家庭料理」。

毎月数十本の記事をスタサプ編集部から発信している中でも、“食”は圧倒的な人気を誇っているテーマでもあります。そして今回のアンケートで、「高校生が思う家庭料理は？」という問いで、圧倒的1位に君臨したのが「カレーライス」。昔からカレーライスは THE 家庭料理という印象ですが、高校生のフリーコメントを見ていると、共働き家庭の増加によってその理由に変化があるように感じました。

「両親の仕事が忙しくて家事に手が回らないときは、簡単に作れるカレーライスになるから。おいしいから大満足」（高2女子/石川県）と、親が仕事で忙しいことを察するバロメーターになっていたりと、「母が作る時きもあれば父が作る時きもあるけれど、さまざまなレパートリーのカレーをよく作ってくれるから」（高3女子/埼玉県）、作り置きで温めるだけでおいしく食べられるという声も。“両親が共働き”、“父が作ってくれる”と、“専業主婦”、“家事は母がやるもの”といった過去のスタンダードな家庭の在り方から変化していることが見え、作っている人や理由が変化していることが分かりました。また、“〇曜日はカレー”と決まっている家庭も多く、多忙な毎日の中で決まったルーティンの一つになっているようです。

### 【アンケート概要】

- 調査時期：2022年9月26日（月）～2022年9月28日（水）
- 調査方法：インターネットリサーチ
- 調査対象：全国高校生男女（『スタディサプリ進路』の高校生エディター／公式LINE登録者）
- 有効回答数：884人（男子258件、女子626件）
- 調査実施機関：株式会社リクルート

## ■『スタディサプリ進路』について

『スタディサプリ進路』は、1970年に創刊した『リクルート進学ブック』に始まり、2020年に50周年を迎えた、リクルートグループにおいて就職支援に次いで歴史の長い事業です。“「学びたい」「学んでよかった」がもっと増えていく世界の実現”をコンセプトに、変化が激しい社会の中で生徒が生き抜くために、「なりたい自分」と「自己実現できる学校」を発見し、「自分に合った進路選択の実現」を可能にするためのサービスを提供しています。高校3年間を通して、「自己理解」「職業観育成」「学びの内容理解」「学校研究」に対応するさまざまな教材ラインアップを無料で提供しています。

（詳細：<https://shingakunet.com/rnet/column/rikunabi/index.html?vos=conttwnowother00010>）

## ■“スタサブ編集部”について

全国3,000人以上の現役高校生からなる「スタサブ高校生エディター」と共に、高校ライフにフィットするコンテンツを作る編集部。進路や受験勉強のノウハウはもちろん、夜食レシピやメンタルを支える名言などの多様なコンテンツを、Webサイト『#高校生なう』、年8回発行の雑誌『スタサブ進学マガジン』、アプリ『スタディサプリ for SCHOOL』、会員向けメールマガジン、各種SNSで配信中。

なお、今回のアンケート結果をさらに詳しく分析した記事は『#高校生なう』の下記URLにて公開中。

<URL：<https://shingakunet.com/journal/fromsapuri/20221021000004/?vos=scrmot00029>>

## リクルートグループについて

1960年の創業以来、リクルートグループは、就職・結婚・進学・住宅・自動車・旅行・飲食・美容などの領域において、一人ひとりのライフスタイルに応じたより最適な選択肢を提供してきました。現在、HRテクノロジー、マッチング&ソリューション、人材派遣の3事業を軸に、60を超える国・地域で事業を展開しています。リクルートグループは、新しい価値の創造を通じ、社会からの期待に応え、一人ひとりが輝く豊かな世界の実現に向けて、より多くの『まだ、ここにはない、出会い。』を提供していきます。

詳しくはこちらをご覧ください。

リクルートグループ：<https://recruit-holdings.com/ja/> リクルート：<https://www.recruit.co.jp/>